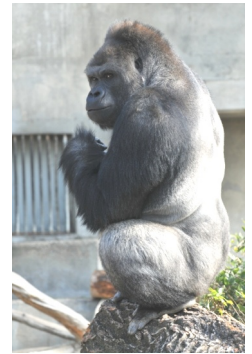


12月14日 土木交通委員会（田口一登委員長・藤井ひろき議員）

# ゴリラ・チンパンジー舎を改築

## 16億円で広いスペースと立体展示で本来の姿をめざす



12月11日の土木交通委員会で、東山動植物園ゴリラ・チンパンジー舎の整備について説明がありました。

### 開園100周年に向け順次整備

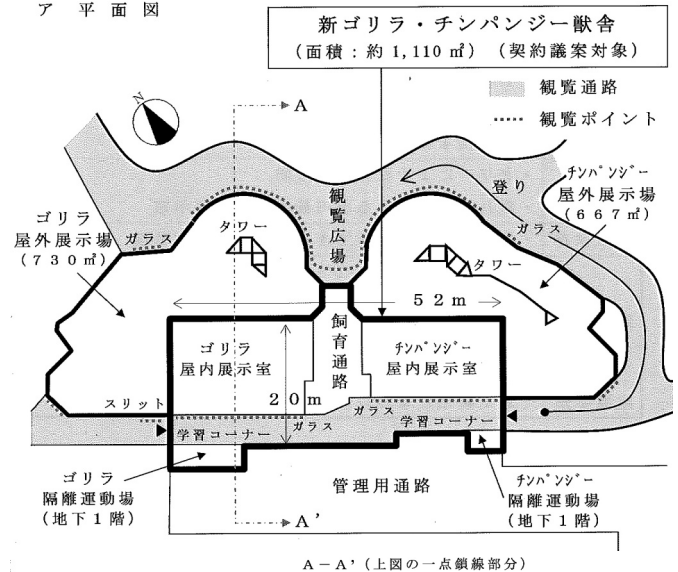
東山動植物園は2036年度の開園100周年に向け整備をすすめています。東山再生プラン全体は、なごや東山の森（東山公園・平和公園）約400haを対象に15ゾーンで生態的な展示や行動展示など多様な展示を計画し、全体事業費は約350億円、年間目標入園者数は350万人となっています。

今回のゴリラ・チンパンジー舎の改築は、30年度からのオープンをめざし、獣舎7億円など全体で16億円を予定しています。屋内外合わせて国内最大級の広さになり、タワーも設置し、ダイナミックな展示にしたいとの説明がありました。現在地は隣のオランウータンをアジアの熱帯雨林エリアに移設して、後はサバンナエリアに改装する計画です。

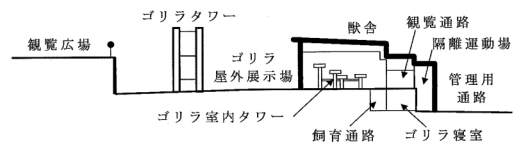
藤井ひろき議員は、「ツイッターでも8万人以上がアクセスするなど関心も高い。情報発信もしっかりやってPRもすすめてほしい」と要望しました。

今春からイケメンゴリラとして世界的に話題になっている、西ローランドゴリラのシャバーニ（オス19歳）

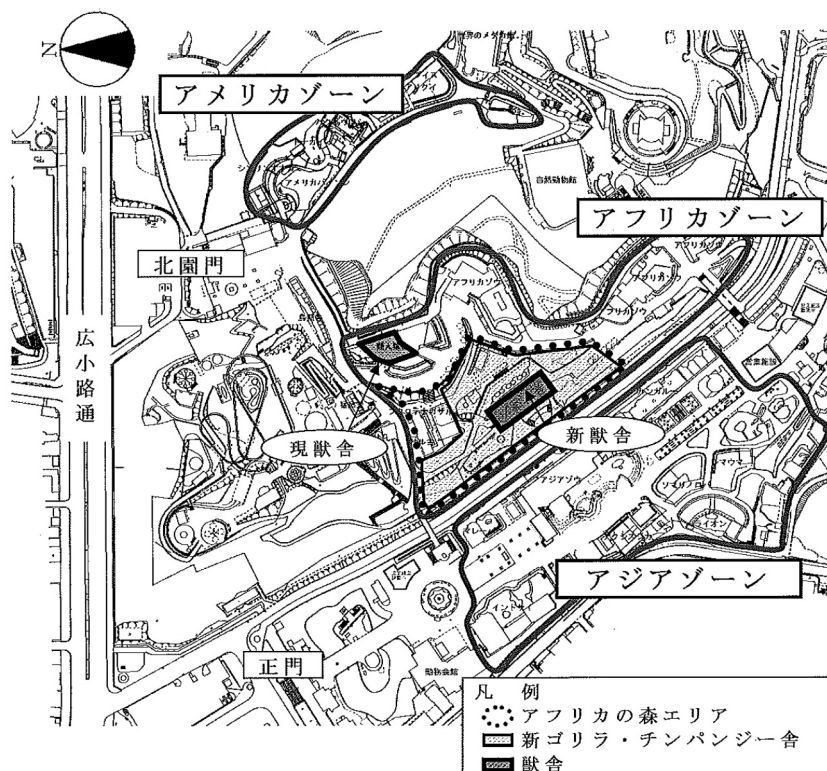
ア 平面図



A-A' (上図の一点鎖線部分)



(参考) 東山動植物園再生プランの経緯



年度	(主な整備箇所)
2008年度	・チンパンジー舎展示施設 ・桜の回廊 ・地域の自然学習林 ・東海モデル林 ・くらしの森
2009年度	・ニホンザル舎展示施設 ・ゾウガメ舎展示施設 ・メダカ館展示施設 ・くらしの森 ・ふれあいの森
2010年度	・アメリカバイソン舎展示施設
2011年度	・シンリンオオカミ舎 ・バードホール ・アシカ・アザラシ舎 ・ペンギン舎 ・フクロテナガザル舎 ・オオアリクイ ・ヤブイヌ舎
2012年度	・アジアゾウ舎 (ゾーリアム) ・営業施設 (カフェ、物販、レストラン)
2012年度	・バクトウワシ舎 ・ツシマヤマネコ舎
2014年度	・アジアゾーン休憩所
2015年度	・営業施設 (フードコート) ・アフリカの森エリア 整備着手